



## ♪ ちっちゃい は～あと通信 ♪



今年は夏が長くととても暑かったですね。秋はあっという間に過ぎ去って、少しずつ寒くなってきましたね。だんだん本格的な冬が近づいてきて、今年もあと1か月となりました。

12月～1月は楽しい行事がたくさんあります。寒い季節、体調に気を付けながらクリスマスやお正月をお子さんと一緒にぜひ楽しんでくださいね。

さて今回の12月号は、診療所とOT（作業療法士）、行事委員会からのお話をお届けします！



# — 診療所だより —

## 今年流行りの感染症～診療所より

今回は最近流行している3種類の感染症について簡単に解説します。  
川崎市の状況は川崎市感染症情報センターのホームページで見ることができます。



### マイコプラズマ肺炎

「肺炎マイコプラズマ」という、とても小さな細菌によって起こります。小児や若い人の肺炎の原因として、比較的多いものの一つです。肺炎にまでは至らないで気管支炎で済むことも多いです。発熱や全身の倦怠感（だるさ）、頭痛、せきなどの症状が見られますが、しつこいせきが特徴です。重症化することは少ないですが、肺炎になった場合や、稀ですが、髄膜炎（脳やせき髄を包むスペースに炎症が起きたもの）、胸膜炎（肺の表面をおおう胸膜に炎症がおき、胸水が貯まるもの）になった場合は入院が必要になることがあります。迅速検査も可能になっていますし、抗菌剤が有効ですので、咳が長引く場合はかかりつけの小児科を受診しましょう。新型コロナウイルス感染症流行開始後は報告数が減少し、毎年起こる秋冬期の季節性の報告数増加もみられませんでした。しかし今年は8月末以降増加が続いており、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い状況です。

### 手足口病

口の中、手のひら、足底や足背(足の甲)などに小さな水疱を伴う複数の発疹(ほっしん)が出ます。熱が出ることもあります。口の中に水疱ができると痛くて水が飲みにくくなるため、少量ずつこまめに水を飲ませてあげましょう。エンテロウイルスという腸で増殖するウイルスの仲間によって起こります。基本的には軽症で済むことが多く、特別な治療方法はありませんが、ごくまれに髄膜炎が生じることがありますので、高熱や頭痛が見られるときは早めに受診しましょう。主に夏に流行しますが、今年は秋になって再び患者数の増加が見られ、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い状態です。

### 伝染性紅斑

頬(ほほ)に出現する境界明瞭な紅斑を特徴とし、小児を中心にみられる感染症です。手、足にレース状の発疹が出ることもあります。頬の発疹の様子から、リンゴ病と呼ばれることもあります。パルボウイルスというウイルスによって起こります。ほとんどは合併症をおこすことなく自然に回復します。ただし妊娠中に感染すると、まれにお腹の赤ちゃんに異常が起きることがありますので、妊婦さんが罹患した場合は胎児の状態をよく診てもらおうと良いでしょう。今年は6月に感染者が増え始め、8月下旬から急増しました。



共通する予防法は流水や石鹸で手洗いをしっかりすること、タオルの共用を避けることです。それに加えてマスクを着用するなど“咳エチケット”を守ることがあげられます。

これらの感染症には出席停止に関する決まりはありません。

全身状態が良好で、日常生活に支障がなければ、登園・登校は可能です。

当センター来所の際、不明な点があればご相談ください。

# ～リハビリテーションだより～

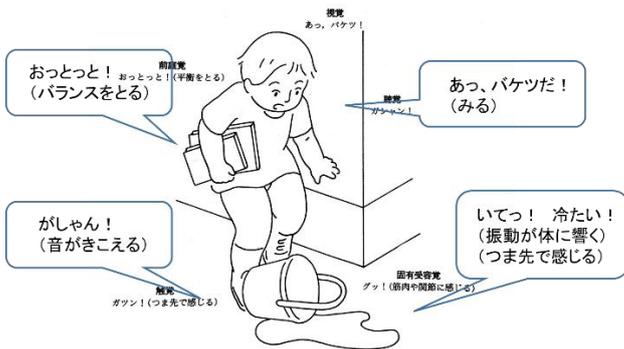
こんにちは、OT(作業療法)です!!今回は“感覚について”お伝えいたします。まず、感覚には種類があります。

見る(視覚) 聴く(聴覚) 嗅ぐ(嗅覚) 味わう(味覚) 触る(触覚) 固有覚※1 前庭覚※2



※1 関節がどのくらい曲がっているか、筋肉がどれくらい伸び縮みしているか(固有覚)

※2 スピードや回転、どれくらい傾いているか(前庭覚)



生活をしていると一つの感覚だけで行動することは少ないで

すよね。左図のように、人が行動を起こすときには、このいくつ

かの感覚を複数動員しながら、情報の処理を行っています。

そしてこの感覚についてですが、「感覚は人それぞれで感じ

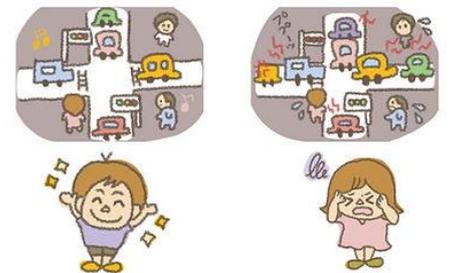
方は異なる」といった特徴があります。

人、場所、時間で感じ方が異なることがある!

同じ人でも心理状況により感じ方が異なることがある!

またあわせて感覚とは面白いもので、ストレスのある状態であるときには“過敏傾向になりやすい”といった特徴もあります。そのようなときには、ストレスになるものは何かを考えて対応することが大切です。

豊かな感覚は「脳の発達」に重要な役割があるとも言われています。しかし、量が多ければよいわけではありません。感覚を感じ、脳に届けるまでの道が混雑することなく、整頓されていることが必要です。ですので、お子さんの発達の状況にあわせた様々な感覚の経験が大切です。遊びも感覚をベースに紐解いてみると



面白い発見があるかもしれません。またそれぞれの感覚の感じ方について、お子さんやご家族、お友達と話し

合ってみると、面白い発見があるかもしれませんね。ぜひ話し合いながら、自分の感覚と相手の感覚の感じ方

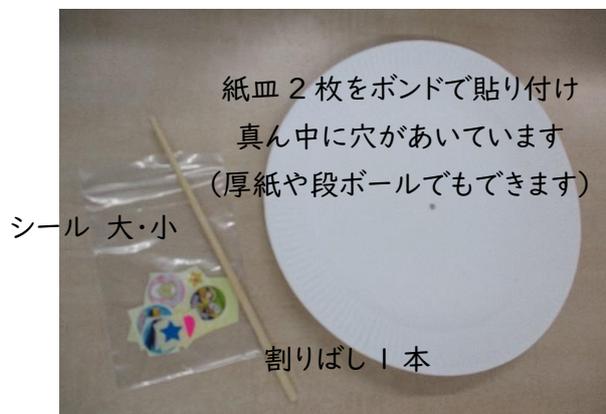
が同じ・違うなど、探してみてください!!

## ～行事委員会だより～

はじめまして、行事委員会です。行事委員会では、毎年地域の方々におけたイベントをいくつか企画運営しています。

今回は、11月2日の中原こども未来フェスタ、16日の高津区子どもフェスタに参加してきましたので、そのご紹介をします。

通園療育でおなじみの「くるくるぼん」を作って遊ぼう」という企画で、くるくるぼん手作り用のキットをつくり、フェスタに参加いただいたお子さんやご家族にその場でシールを貼ったり色を塗ったり描いたりして楽しんでもらいました。ぜひおうちでもお子さんの好きな色・好きな図絵などを貼って、自分だけの「くるくるぼん」をつくってみてくださいね♪



くるくるぼん手作りキット



完成見本

☆2024年11月2日(金) 中原こども未来フェスタ 参加の様子☆



グランツリーの外のブースをお借りしました。当日は天気もよく大賑わいで大盛況でした!

☆2024年11月16日(土) 高津区子育てフェスタ 参加の様子☆



ノクティール11階の音楽室をお借りしました。

当日はいっぱい作成し、いっぱい回して遊んでもらいました♪

